

令和5年度

学習計画表

(シラバス 3年)

塩濱

四日市市立塩浜中学校

評価及び評定について

(1) 教科における観点別評価の方法について

- ① シラバスに記載されている評価方法に基づいて評価する。
- ② 各評価結果を100%が最高となるように総合到達率を換算し、下の基準表に照らし合わせてABCで表記する。

	総合到達率（目安）
A	80%以上
B	45%以上～80%未満
C	45%未満

(2) 5段階評定の方法について

- ① 各観点が合計100点になるように、基本は年間を通しての観点の重みづけは1:1:1で配分する。
- ② 観点別評価で出した数値をこの配分にしながら再計算して総合し、下の基準表に照らし合わせて総合的な評価として5段階で表記する。

	総合到達率（目安）	数 値 の 意 味
5	90%以上	十分満足できると判断されるもののうち、特に <u>程度の高いもの</u>
4	80%以上～90%未満	十分満足できると判断されるもの
3	45%～80%	おおむね満足できると判断されるもの
2	20%～45%	努力を要すると判断されるもの
1	20%未満	一層努力を要すると判断されるもの

参 考 資 料

※評価の観点と評価方法 評価方法として○は適切

評 価 方 法	観 点		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態 度
ペーパーテスト	○	○	
パフォーマンステスト	○	○	○
レポ ー ト	○	○	○
ポートフォリオ	○	○	○
実 技 テ ス ト	○	○	○
作 品	○	○	○
み と り	○	○	○
ノ ー ト	○	○	○
自 己 評 価	○	○	○
相 互 評 価	○	○	○

目次（3年）

学習へのアドバイス	・ ・ ・	1 ～ 2
国語科	・ ・ ・	3 ～ 4
社会科	・ ・ ・	5 ～ 8
数学科	・ ・ ・	9 ～ 1 1
理科	・ ・ ・	1 2 ～ 1 4
音楽科	・ ・ ・	1 5 ～ 1 6
美術科	・ ・ ・	1 7 ～ 1 8
保健体育科	・ ・ ・	1 9 ～ 2 1
技術家庭科(技術分野)	・ ・ ・	2 2 ～ 2 3
技術家庭科(家庭分野)	・ ・ ・	2 4 ～ 2 5
英語科	・ ・ ・	2 6 ～ 3 0

学習についてのアドバイス

【授業では・・・】

授業前の準備や授業後のあとかたづけ

- ・忘れ物をせず、チャイムが鳴るまでに授業の準備・準備運動をしておきましょう。授業に使用する道具、資料の確認もしっかりとしておきましょう。
- ・準備や後片付けに積極的に参加しましょう。

授業中

- ・先生の話や友だちの話を集中して聴き、自分の考えをもち、進んで意見を言いましょう。
- ・友だちの意見に耳を傾け、自分の考えと比べながら理解を深めましょう。
- ・分からないことは先生や友だちに自分から質問しましょう。
- ・実験、実習、観察には安全に十分配慮し、手順を間違えないようにし、互いに協力して参加しましょう。

ノートづくり

- ・ノートは丁寧に早く書くようにしましょう。
- ・ノートは、板書を書き写すだけでなく、大事なところ、気をつけたいところ、自分で気づいたことやなるほどと思った友だちの意見をメモしましょう。

【家庭では・・・】

家庭学習の取り組み方

- (1) 毎日決めた時間に机に向かいましょう。
- (2) 机の上は学習用具だけにしましょう。(学習に必要なものは片付けておきましょう。)
- (3) 宿題をその日のうちに必ず家でしましょう。
- (4) 宿題以外の自主学習をしましょう。
 - ① その日の授業で学んだポイントをノートに記しておきましょう。
 - ② 授業で習ったところを教科の問題集などで復習しましょう。
 - ③ 次に習うところを教科書で確認しましょう。
- (5) 提出物は提出日に必ず出すことができるように、計画的に進めましょう。

家庭学習時間の目安

あくまでも目安です。参考にしてください。

- 1年生・・・2時間以上
- 2年生・・・2.5時間以上
- 3年生・・・3時間以上

【各教科より】

- ☆国語・・生活ノートなど文章を書くときには、具体的な内容を入れ、漢字を使うようにしましょう。
- ☆社会・・日頃から地図や新聞、本、ニュースに親しみ、過去や現在のことを調べてみましょう。
学校で話し合ったことを家庭でも話題にし、家族の意見を聞いて考えを深めましょう。
- ☆数学・・分からないことはそのままにせず、いろんな人に質問して解決しましょう。
学習した内容は、その日のうちにもう一度自分で解いてみましょう。
- ☆理科・・ニュースや新聞等から、いろいろな科学技術や自然環境の保全など理科に関することがらについてチェックしましょう。
- ☆音楽・・ジャンルを問わず、いろいろな音楽を聴いたり見たりしましょう。
合唱発表会前には楽譜と練習用音源が配布されます。家でもよく聴いてしっかり練習することが大切です。「合唱練習ノート」でしっかり曲分析や学習しましょう。
- ☆美術・・アイデアは1つだけで終わらず、いくつも発想し、その中からよりよいものを選びましょう。
制作が遅れている場合、先生の許可を得て制作途中の作品持ち帰り、進度を合わせましょう。
期末テストの実技は必ず時間を計測して練習しましょう。
- ☆保体・・知識と技能を結び付けよう。技術の名称を知っているだけで、授業に入りやすくなります。授業プリントの裏は予習のために活用しましょう。また、動画もたくさん見てイメージしましょう。
- ☆技家・・学習したことを日々の生活につなげ、積極的に実践していきましょう。
実習で必要なものは事前にきちんとそろえ、手や爪などは清潔にしておきましょう。
- ☆英語・・大きな声で繰り返し音読練習をし、英語のリズムを積極的に身につけましょう。
新出単語は事前に意味を調べておきましょう。
普段の生活の中から世界の国々の情勢に関心を持ちましょう。

第3学年 国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。 (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識・技能〕 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考・判断・表現〕 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。〔主体的に学習に取り組む態度〕
教科書	国語3（光村図書） 新編新しい書写1・2・3年用（東京書籍）
副教材	国語の学習 漢字練習ノート すらすら基本文法

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等） (2)情報の扱い方に関する事項（文章や資料等の関係を理解や整理等） (3)我が国の言語文化に関する事項（伝統的な言語文化や書写等）	各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。	各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。
・テスト（定期、単元、技能等） ※技能テスト：音読、スピーチ、書写作品等 ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、プリント、作品等）	・テスト（定期、単元等） ・授業の活動や内容 ・指導に対する成果物（ノート、プリント、作品等）	・授業の活動や内容 ・指導に対する成果物（ノート、プリント、作品等） ・振り返り

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞き、自分の考えと比較しながら考えましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫して丁寧にまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	・授業に入る前には、教材文を繰り返し読み、新しい漢字や分からない言葉を調べましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか整理し、自分の考えをまとめておきましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。 ・ワークやiプリ等を活用し、復習をすることで、学校で学んだことを定着させましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	世界はうつくしいと（読） 握手（読）	- 言葉に対する感覚を磨き語彙を豊かにする。 - 登場人物の言動を表す語句に着目し、その意味を考える。 - 作品の展開を踏まえて、その生き方について考えを深める。
5	学びて時に之を習ふ（読） 情報整理のレッスン 情報の信頼性（情） 文章の種類を選んで書こう（書）	- 歴史的背景に注意して「論語」を読み、長く受け継がれてきた名言に触れる。 - 情報の信頼性の確かめ方を理解する。 - 内容に適した文章の種類を選び、構成を工夫して書く。
6	作られた「物語」を超えて（読） 説得力のある構成を考えよう（話・聞） すいかは幾つ必要？ 実用的な文章を読もう/報道文を比較して読もう（情）	- 文章における具体と抽象の関係を捉える。 - 論説の特性を踏まえ、文章の構成や論理の展開を評価する。 - 文節の係り受け、句読点の位置などを理解する。 - 文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価する。
7	俳句の可能性/俳句を味わう（読）	- 俳句の特徴について、理解を深める。 - 内容や表現のしかたに着目し、俳句を評価しながら読み深める。
9	挨拶 - 原爆の写真によせて（読） 故郷（読） [推敲] 論理の展開を整える（書）	- 比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考える。 - 小説を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 - 論理の展開や内容に関わる点に着目して、文章を整える。
10	音読を楽しもう 初恋（読） 君待つと - 万葉・古今・新古今（読）	- 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 - 詠まれた状況や歴史的背景を理解し、和歌の世界に親しみ、表現の効果などについて考える。
11	夏草 - 「おくのほそ道」から（読）	詠まれた状況や歴史的背景を理解し、筆者のものの見方や考え方を考える。
12	情報を読み取って文章を書こう（書） 「ない」の違いがわからない？	- 文章を読んで考えを広げたり深めたりする。 - 今まで習った文法を理解して使いこなす。
1	人口知能の未来（読） 人間と人工知能と創造性（読） 多角的に分析して書こう（書）	- 文章を批判的に読み、自分の意見をもつ。 - 表現のしかたを考えたり資料を引用したりして、説得力のある文章を書く。
2	わたしを束ねないで（読）	詩の中の言葉や表現から作品のもつメッセージを捉える。
3	誰かの代わりに（読） 三年間の歩みを振り返ろう（話・聞）（書）	- 筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。 3年間の学びを振り返り、言葉を選び、自分の考えをわかりやすく伝える。

※書写は、国語科の授業の中で年間10時間程度行われます。以下は、年間を通じた学習目標です。

- ・身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。

5 教科における道徳教育

- ・表現力と理解力を育成するとともに、人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重し合いながら言葉で伝え合う力を高める。
- ・思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、道徳的心情・判断力を身につける。
- ・伝統的な言語文化に親しみ、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する。

第3学年社会科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。 (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
教科書	新しい社会 歴史（東京書籍）、中学社会公民的分野（日本文教出版）、地図帳（帝国書院）
副教材	ダブルトライ社会の学習 歴史Ⅱ・Ⅲ（とうほう）よくわかる社会の学習 公民（明治図書）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【歴史】 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【公民】 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	【歴史】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 【公民】 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	【歴史】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 【公民】 現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わりようとしている。
定期テスト、単元テストや小テスト ※「知っている・できる」レベルだけでなく、「わかる」レベルの概念的理解を問う問題 単純な技能をはかる実技テスト など	定期テスト、単元テストや小テスト ※「わかる」レベルの思考を問う問題や、「使える」レベルの思考を意識した記述問題 複数の技能を組み合わせた実技テスト パフォーマンス課題などの課題 自主勉強ノート、プリントなどの記述 授業中の発言 など	授業中の活動や発言 自主勉強ノート、プリントなどの記述 パフォーマンス課題などの課題 など

※発言…言語活動を通して、話題や相手の話をもとに、思考しながら話をしたり、意見を述べたりすること

※パフォーマンス課題…思考のみならず、粘り強く考える意欲や、見方・考え方を働かせて考えようとする

知的態度などが試されるような課題

3 学習についてのアドバイス

学 校	・自分の考えをしっかりと発信しましょう。その際には、資料や今までの学習などの根拠をもとに、理由もふまえながらの発信に心がけましょう。 ・他の人の考えにしっかりと耳を傾けましょう。その際には、自分の考えと比較し、同じところや違うところを考えながら聞きましょう。 ・「問い」の意識をもち、他の人の考えを聞いたり、様々な資料を積極的に使ったりしながら、学習を深めていきましょう。 ・ノートへは、黒板に書かれたことだけではなく、自分の気づきや学習のポイントだと考えるところを積極的に書きましょう。
家 庭	・新聞やテレビから、社会で起こっている出来事を知り、授業で学習した内容との関連を見いだすとともに、現在進行的な社会事象への関心を高めましょう。 ・学習した内容に関連する資料を集めたり、調べものをしたりして、追究を深めましょう。 ・自主勉強ノートやワーク、i プリ等を利用して、予習や復習をする習慣をつけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	(歴) 日清・日露戦争と近代産業	・欧米諸国の植民地獲得競争、日清戦争に至るまでの背景としての東アジアの情勢を理解する。 ・下関条約の内容に関心を持ち、戦後のアジアの国際関係や国内情勢を捉える。 ・日露戦争について、戦争の規模や国内外の反応を様々な視点から考察し、表現する。 ・産業革命によって、都市や農山漁村の生活に大きな変化が生じたことを捉える。 ・明治時代の文化は、どのような特色を持っていたのかを考察し表現する。
5	(歴) 【二度の世界大戦と日本】 (歴) 第一次世界大戦と日本 (歴) 大正デモクラシーの時代	・二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら、概要を理解する。 ・二度の世界大戦のころの日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身につける。 ・表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取る。
	(歴) 世界恐慌と日本の中国侵略 (歴) 第二次世界大戦と日本 (歴) まとめ	・写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取る。 ・各国の動きについて、公正に判断し、自分の意見を述べる。 ・日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べる。 ・二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付ける。 ・戦争体験者など、当時を知っている方々に話を聞く機会を、意欲的に利用しようとする。
6	(歴) 【現代の日本と私たち】 (歴) 戦後日本の出発 (歴) 冷戦と日本の発展 (歴) 新たな時代の日本と世界	・第二次世界大戦後に行われた日本の諸改革により、日本はどのように再建を遂げていったのかを、苦しい状況の中、男女普通選挙の確立や、日本国憲法などを制定し民主化政策を進め、冷戦の中、国際社会の復帰を果たしたことなどを基に理解する。 ・現代の日本の役割が国際社会で大きくなってきたことを、高度経済成長や沖縄返還などの国際社会との関わりの深まり、冷戦終結後の世界情勢を基に理解する。 ・戦後の日本の歩みについて、国内外の様子など様々な事象を関連付

7		けながら、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現代の日本がどのような特色を持つのかについて、現代の日本の歴史を大観し、その特色を多面的・多角的に考察する。 ・現代の日本の特徴を理解しようと、現代の我々とのつながりに着目しながら、学習の見通しを立て、課題の解決に取り組む。
9	㊤【私たちと現代社会】 (公) 私たちが生きる現代社会の特色 (公) 現代社会の文化と私たち (公) 現代社会の見方・考え方 (公) まとめ	・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることを理解する。・現代社会における文化の意義や影響について理解する。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・私たちと現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
10	㊤【私たちの生活と政治】 個人の尊重と日本国憲法 (公) 法に基づく政治と日本国憲法 (公) 日本国憲法と基本的人権 (公) 日本の平和主義 (公) まとめ	・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解する。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解する。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
11		
12	㊤【私たちの生活と政治】 国民主権と日本の政治 (公) 民主政治と政治参加 (公) 国の政治のしくみ (公) くらしを支える地方自治 (公) まとめ	・国会を中心とする日本の政治のしくみのあらましや政党の役割を理解する。 ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解する。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解する。 ・地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に、地方自治の基本的な考え方について理解する。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・国民主権と日本の政治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
12	㊤【私たちの生活と経済】 (公) 経済のしくみと消費生活	・身近な消費生活を中心に経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などのしくみや働き、勤労の権利と義務、

1	(公) 生産の場としての企業 (公) 金融のしくみとお金の大切さ	労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解する。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解するとともに、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、表現する。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察・構想し、表現する。 ・私たちの生活と経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
2	(公) 財政と国民の福祉 (公) まとめ	
	㊦【私たちと国際社会】 (公) 国家と国際社会 (公) 国際社会の課題と私たちの取り組み (公) まとめ	・領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解する。 ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。 ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
3	㊦【私たちの課題—持続可能な社会をめざして—】	・持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題に関わる基本的な事項について理解している。 ・諸資料から、持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題の解決に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 ・社会的な見方・考え方を働かせ、私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察・構想し、自分の考えを説明、論述している。 ・私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

5.教科における道徳教育

- ・国際社会における平和で民主的な国家・社会の形成者としての自覚をもち、自由・権利と責任・義務との関係を正しく認識することで、権利・義務の主体者として公正に判断しようとする態度や能力などの公民的資質の基礎を養う。
- ・日本の国土と歴史に対する理解を深め、伝統と文化を尊重する態度を養う。
- ・環境問題等を通じ、生命尊重・自然愛護の精神を養う。

第3学年 数学科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。 (1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる数学3（啓林館）
副教材	数学の問題ノート

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数$y = ax^2$、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 - 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしていたりしている。
- 定期・小テスト等 - 課題・ノートの内容 - 授業の様子や発言内容	- 定期・小テスト等 - 課題・ノートの内容 - 授業の様子や発言内容	- 授業の様子や発言内容 - 課題・ノートの内容 - 振り返り

3 学習についてのアドバイス

学校	- これまでに身に付けた知識や考え方を利用して、課題を考える習慣をつけましょう。 - 自分の意見は、具体的に分かりやすく伝えるようにしましょう。 - 他の人の意見を聞くときは、自分の意見と比べながらしっかりと聞きましょう。 - ノートやテキストには、黒板に書かれたことを写すのではなく、他の人の説明や、自分の考えを書き加えるなどして工夫して書くようにしましょう。
家庭	- 分からない問題や間違えた問題は解答や教科書を参考に、次の授業までに理解できるようにしておきましょう。 - 授業で学習した内容に関連する問題（ワークなど）でしっかりと練習するようにしましょう。 - 定期テスト直前にまとめて学習するのではなく、計画的に問題集を進めておきましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	・式の展開と因数分解 1. 式の乗法・除法 2. 乗法の公式 3. 因数分解	(知) 展開の意味を理解し、多項式と単項式の乗法、除法や多項式同士の乗法の計算や、乗法の公式を用いた式の展開をすることができる。また、因数及び因数分解の意味を理解し、共通因数をくり出したり乗法の公式を用いたりして、因数分解することができる。 (思) 既に学習した計算の方法と関連づけて、多項式と単項式の乗法・除法の計算の方法や、多項式どうしの乗法の計算をする方法を考察し表現することができる。 ・$(a+b)(c+d)$の展開をもとにして、乗法の公式を見だし、それと関連づけて、式を因数分解する方法を考察し表現することができる。
5	・式の計算の利用 1. 式の計算の利用	(知) 数量及び数量の関係を帰納や類推によって捉え、それを文字式を使って一般的に説明することの必要性和意味を理解している。そして、乗法の公式や因数分解の公式を活用し、目的に応じて式を変形することができる。数や式の値の計算をしたりすることができる。 (思) 数や図形の性質などが成り立つことを、数量及び数量の関係を捉え、文字式で説明したり、説明に用いた式の変形等をふり返ったり、数や図形についての新たな性質などを読み取り表現したりすることができる。また、乗法の公式や因数分解の公式を活用して、能率よく数や式の値の計算をする方法を考察し表現することができる。
6	・平方根 1. 平方根 平方根の値 2. 有理数と無理数 3. 真の値と近似値 ・根号をふくむ式の計算 1. 根号をふくむ式の乗法、除法 2. 根号をふくむ式の計算 ・平方根の利用 1. 平方根の利用	(知) 数の平方根の必要性和意味を理解することができる。 (思) 数の平方根の必要性和意味を考察し、表現することができる。 (知) 数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。 (思) 既に学習した計算の方法と関連づけて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。 (知) 具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 (思) 数の平方根を具体的な場面で活用することができる。
7	・二次方程式 1. 二次方程式とその解き方 2. 二次方程式の解の公式 3. 二次方程式と因数分解 ・二次方程式の利用 1. 二次方程式の利用	(知) 二次方程式とその解の意味を理解し、解の公式や、因数分解を使って、二次方程式を解くことができる。 (思) 二次方程式の解の公式を導くことができる。 ・因数分解を使って、二次方程式を解く方法を導くことができる。 (知) 問題を解決するために、二次方程式を解くことができる。 (思) 二次方程式を利用して、問題を解決することができる。
9	・関数とグラフ 1. 関数$y = ax^2$ 2. 関数$y = ax^2$のグラフ ・関数$y = ax^2$の値の変化 1. 関数$y = ax^2$の値の増減と変域 2. 関数$y = ax^2$の変化の割合	(知) 関数$y = ax^2$のグラフとその特徴を理解し、関数$y = ax^2$のグラフをかくことができる。 (思) 関数$y = ax^2$のグラフの特徴を表や式と関連付けて考察し、表現することが出来る。 (知) 関数$y = ax^2$の値の変化の割合について調べ、一次関数との違いがわかる。 (思) 関数$y = ax^2$のxの値が変化するときのyの値の増減の様子を考察し表現することが出来る。
10	・いろいろな事象と関数 1. 関数$y = ax^2$の利用 2. いろいろな関数	(知) 具体的な事象の中から見いだした関数関係の中には、既習の比例、反比例、一次関数、関数$y = ax^2$、それらとは異なるものがあることを理解することが出来る。 (思) 身のまわりに関数$y = ax^2$と関わりの深い事象があることを知り、$y = ax^2$の関係を利用して、問題を解決することができる。

11	- 図形と相似 - 相似な図形 - 三角形の相似条件 - 三角形の相似条件と証明	(知) 相似な図形の性質を見出し、その関係性を記号を使って表したり、対応する辺の長さや角の大きさを求めるたりすることができる。 (思) 三角形の相似条件の意味を理解し、図形の性質を三角形の相似条件を用いて証明することができる。
	- 平行線と線分の比 - 平行線と線分の比 - 中点連結定理	(知) 平行線と線分の比についての性質や中点連結定理を理解し、線分の長さなどを求めることができる。 (思) 平行線と線分の比についての性質やその逆、中点連結定理を理解し、図形の性質を証明することができる。
	- 相似な図形の計量 - 相似な図形の面積 - 相似な立体の表面積・体積	(知) 相似な図形や立体の相似比と面積比や、表面積比・体積比の関係を理解し、比の関係をj用いて図形や立体の求積ができる。 (思) 相似な図形や立体の相似比と面積比や、表面積比・体積比を調べ、それらの関係について考察し表現することができる。
	- 相似の利用 - 相似の利用	(知) 相似な図形の性質を活用して、図形の辺の比の関係を求めることができる。 (思) 具体的な場面において、相似な三角形を見つけ出し、直接測定できないような高さや距離を、縮図等を利用して求めることができる。
12	- 円周角と中心角 - 円周角と中心角 - 円周角の定理の逆	(知) 円周角と中心角の関係や、同じ弧に対する円周角の性質や、円周角の定理の逆の意味などを記号で表したり、それを用いて角の大きさを求めたりすることができる。 (思) 円周角と中心角の関係や、同じ弧に対する円周角の性質を見だし、その証明にどのような図形の性質が用いられているか考察し表現することができる。また、円周角の定理の逆をもとに、異なるいくつかの点と同じ円周上にあるかを確認し、表現することができる。
	- 円の性質の利用 - 円の性質の利用	(知) 具体的な場面で、円の性質を活用して、問題を解決する方法が理解できる。 (思) 円周角と中心角の関係や、円周角の定理の逆など、円の性質を具体的な場面で活用することができる。
1	- 直角三角形の3辺の関係 - 三平方の定理	(知) 直角三角形の辺の長さなどを求めることができる。 (思) 三平方の定理を見いだすことができる。
	- 三平方の定理の利用 - 三平方の定理の利用	(知) 三平方の定理を活用して問題を解決する方法について理解できる。 (思) 三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。
2	- 標本調査 - 標本調査の方法 - 母集団と標本の関係 - データを活用して、問題を解決しよう	(知) 標本調査の必要性和意味を理解し、具体的な場面で問題を解決する方法として理解できる。 (思) 調査の結果を批判的に考察し、簡単な場合において母集団の傾向を推測することができる。

※「主体的に学習に取り組む態度」については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の指導を踏まえ、各単元全体を通して、

- ・学習内容の必要性和意味を考えようとしている。
 ・学習内容について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
 ・学習内容を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。

の観点で評価する。

5 教科における道徳教育

道徳の内容項目

- 自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。
 - 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもち謙虚に他に学び、自らを高めていく。
- などに関連して、日々の学習を進める中で人の意見を聞いたり、教え合ったりする活動で養うことができる。

第3学年 理科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる サイエンス3 (啓林館)
副教材	理科便覧、理科ノート

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
・定期・小テスト等 ・パフォーマンス（技能）テスト ・発言内容 ・振り返り（自己・相互評価）	・定期・小テスト等 ・発言内容 ・振り返り（自己・相互評価）	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、スケッチブック等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・授業の『めあて』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。 ・これまでに学習した内容をいかして、仮説や予想を立てるようにしましょう。 ・理科用語や器具の操作方法は単に覚えるだけでなく、その意味を理解した上で、活用できるようにしましょう。 ・グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。 ・観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、仮説や予想と比較しながら、何がわかったかを自分の言葉で表現しましょう。 ・学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象や日常生活の中の出来事との関わりを考えるようにしましょう。
家 庭	・学習した内容で疑問に思ったことや興味をもったことは、自分で調べてみましょう。 ・継続的な学習ができるように、自分で計画を立てて実行できるようにしましょう。 ・学校で学んだことをワークやiプリ等で復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	【生命】 生命の連続性 1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	・生殖の観察などを通して、生物のふえ方には、無性生殖と有性生殖の2つがあることを見だし、その違いを理解する。 ・種子から根がのびる様子の観察や、細胞分裂の観察を通して、生物の成長を細胞の分裂と関連づけて捉える。 ・有性生殖における減数分裂について理解する。 ・生物がふえていくとき、染色体にある遺伝子を介して親から子へ形質が伝わることを、そしてその伝わり方に規則性があることを理解する。 ・現存の生物や化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連づけて理解する。 ・生物の間のつながりを時間的に見ることを通して進化の概念を身につける。
5		
6	【粒子】 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩	・水溶液の電気伝導性を調べる実験を行い、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見だし理解する。 ・電解質水溶液の電気分解の実験を行い、電極に物質が生成することからイオンの存在を見だし、イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを理解する。 ・金属のイオンへのなりやすさの違いを調べる実験を探究的に行い、金属によってイオンへのなりやすさに違いがあることを見だし、イオンのモデルと関連づけながら理解する。 ・電池を製作し、電池では化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることに気づく。 ・イオンのモデルを用いて電池の基本的な仕組みが説明できる。 ・いろいろな電池に関心を持ち、燃料電池の仕組みについても興味をもつ。 ・酸やアルカリの水溶液を用いた実験を行い、酸やアルカリのそれぞれの性質が水素イオンと水酸化物イオンによることを見いだす。 ・電離のようすをイオンのモデルを使って説明できる。 ・中和反応の実験により、酸とアルカリが反応すると塩と水ができることを見いだす。 ・中和反応をイオンのモデルを使って説明できる。
7		
9	【エネルギー】 運動とエネルギー 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用	・水中にある物体には浮力がはたらくことを見だし、重力と浮力のつり合いの関係から、浮き沈みのしくみを理解する。 ・作図によって合力を求めることができる。 ・分力の求め方を理解する。 ・記録タイマーなどを使って、物体の速さや運動の様子を調べる方法を身につける。 ・物体にはたらく力と運動の関係を理解する。 ・仕事の定義を理解し、仕事の原理を見いだす。 ・仕事をする能力としてエネルギーを定義し、位置エネルギーや運動エネルギーの大きさと、物体の高さや質量、速さとの関係を見いだす。 ・摩擦や空気の抵抗がなければ、力学的エネルギーが保存される
10		

		ことを理解する。 ・身のまわりのさまざまなエネルギーについて気づき、それらのエネルギーはどのように移り変わるか理解する。 ・エネルギーの総量は一定に保たれることを理解する。 ・人間は多様なエネルギー資源を消費して活動していることを知り、将来にわたってエネルギー資源を確保し、安全で有効な利用と環境保全をはかることの重要性を認識する。
11	【地球】 宇宙を観る 1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方	・太陽の観察を行い、その観察記録や資料から、太陽の形や大きさ、表面の様子などの特徴を見いだして理解する。 ・観測資料などから惑星と恒星の特徴や太陽系の構造を理解する。 ・太陽の表面を観察したり記録したりする技能を身につける。 ・太陽や星座の日周運動の観察を行い、天体の日周運動が地球の自転による相対運動であることを理解する。 ・季節ごとの星座の位置の変化や太陽の南中高度の変化を調べ、それらの観察記録を、地球が公転していることや地軸が傾いていることと関連づけて理解する。 ・天体の動きを観察する技能を身につける。 ・月や金星の動きや見え方の観察を行い、月や金星の観察記録などから、見え方を月や金星の公転と関連づけて理解する。 ・月や金星の動きや形を観察したり記録したりする技能を身につける。
12		
1	【環境】 自然と人間 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間	・植物、動物および微生物を、栄養摂取の面から相互に関連づけて捉える。 ・自然界では、生物がつり合いを保って生活していることを、観察などを通して見だし理解する。 ・日常生活や社会では、さまざまな物質が使用目的や用途に応じて使い分けられていることを認識し、物質を有効利用するためには、物質の再利用などが大切であることに気づく。 ・科学技術の発展の過程について、どのようなものがあるかを理解し、さまざまな科学技術の利用が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識する。
2	3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして	・最新の科学技術について調べ、これからの科学技術の発展の方向性を、科学的根拠をもって検討する。 ・身近な自然環境や地域の自然災害を調べる活動を行い、人間の活動などのさまざまな要因が自然環境に影響をあたえていることについて理解し、自然環境を保全することの重要性を認識する。 ・大地の特徴を理解し、自然を多面的、総合的に捉え、自然と人間の関わり方について、科学的に考察して判断する能力や態度を身につける。 ・科学技術の発展と人間生活との関わり方について多面的、総合的に捉え、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し、持続可能な社会をつくることの重要性を認識する。
3		

5 教科における道徳教育

主として自然や崇高なもののかかわりに関すること（１）自然を愛し美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力をこえたものに対する畏敬の念を深める。（２）「生命の連続性」「宇宙の中の地球」「自然と人間」の単元においては、自然への深い理解や科学的な見方・考え方を身につけることで、生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する態度を身につける。「運動とエネルギー」「化学変化とイオン」の単元においては、広い視野をもち新しい発見を素直に喜べる豊かな心を育てる。

第3学年 音楽科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2)曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
教科書	中学生の音楽2・3上(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)
副教材等	

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士に関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
・授業の様子や発言内容 ・授業における練習の様子 ・ペーパーテスト ・実技テスト(演奏・聴き取り等) ・ワークシート等への記述内容 ・作品やレポート		

3 学習についてのアドバイス

学 校	・音楽の約束(音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など)を理解して、それらを生かして音楽の活動(歌唱、器楽、創作、鑑賞)に積極的に取り組みましょう。 ・曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現(演奏)ができるよう工夫しましょう。 ・楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ・自分の声(音)だけでなく周りの声(音)をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ・音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ・作曲者や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ・ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと(感想)を書きましょう。
家 庭	・日常の生活において流れている音楽に耳を傾けよう。 ・授業等で興味をもった曲は、作曲者、音楽の特徴やその拝見となる文化や歴史を自分で調べてみよう。

4 題材・目標等について

学期	題材	題材の目標	教材
1 学 期	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう	・情景を思い浮かべながら、言葉を大切に して合唱しよう。 ・詩や曲の背景を理解して歌おう。	花（共通教材） 群青 My Voice!
	日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	・能に親しみ、その音楽を味わおう。	能「敦盛」
	音階の特徴及び音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	・ハ長調の音階を使ってまとまりのある 旋律をつくろう。	My Melody
	パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう	・パートの役割を理解して合唱しよう。	合唱発表会の曲
2 学 期	全体の響きや各声部の役割を生かして、歌唱表現を工夫しよう	・作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱しよう。	合唱発表会の曲 指揮をしてみよう！
	日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	・声や音楽の特徴を生かして謡を謡おう。	沖縄の伝統音楽に親しもう
	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	・作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を 味わおう。 ・楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わおう。	ブルタバ（モルダウ） ボレロ 社会を映し出す音楽
	曲種に応じた発声を生かして、歌唱表現を工夫しよう	・曲の雰囲気を生かして英語の歌を歌おう。 ・曲想を生かして表情豊かに歌おう。 ・情景を思い浮かべ、表情豊かに歌おう。	Let It Be 早春賦
3 学 期	世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	・世界のさまざまな楽器の音楽を味わおう。	世界の諸民族の音楽 私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能
	ポピュラー音楽の特徴を理解し、その魅力を味わおう	・ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味わおう。	ポピュラー音楽 生活や社会の中の音楽
3 学 期	思いを歌に託そう	・卒業式歌を曲にふさわしい表現で歌おう。	そのままの君で 卒業式歌
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	・曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌おう。	校歌

5 教科における道徳教育

- ・音楽を愛好する心情や音楽に対する感性を養い、自然や崇高なものを尊重する態度を育てる。
- ・音楽活動による豊かな情操を養い、音楽文化についての理解を深め、日本の伝統の継承と新しい文化の創造につとめる。

第3学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
教科書	美術2・3上、美術2・3下(日本文教出版)
副教材	美術資料(秀学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 - 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト - パフォーマンス課題	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - パフォーマンス課題

3 学習についてのアドバイス

学校	- 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 - 主題を考え、1・2年生までに学習したことを活用して、制作に取り組みましょう。 - 主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 - 作品について感じたことを積極的に話し合いましょう。 - 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
----	---

- ・生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイデアを貯めておきましょう。
- ・いつも見ているもの、身近なものでも見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ことをしてみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学 期	○オリエンテーション ・美を探し求めて ・夢をかたちにするデザイン ○イメージを形で表現しよう（デザイン） ・百人一首からイメージした和菓子のデザイン ○美術史を知る（鑑賞）	3年生の美術科での学習内容を知り、3年間のまとめとしてどのようなものを制作していくか、これからの学習の見通しをもつ。 百人一首を学び、創造的な表現の工夫を感じ取り、友達の見方なども聞きながら、自分の見方や感じ方を深める。 自然物や心のイメージなどから主題を生み出し、形を単純化、強調するなどして構想を練り、材料や用具の生かし方などを工夫して想像力を膨らませ、色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に立体で表現する。 ・主題を基に、和歌の世界から、新しい世界をイメージし、表現の構想を練る。 ・表現方法や、形や色彩、材料を工夫して表す。 ・友だちの作品を鑑賞し、その思いや意図、表現の工夫を感じ取り、話し合う。 古代からバロックまで当時の時代背景とともに作品や技法について学ぶ。
2 学 期	○私との対話（絵画） ○美術史を知る（鑑賞）	自分の姿や心の中を見つめて考えたこと、将来の夢などから主題を生み出し、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して、創造的に絵で表現する。 ・自分を見つめ自分の気持ちや性格、夢や思い出などについて考え、主題を生み出す。 ・主題を基に構図、色彩などを考え、自画像の構想を練る。 ・材料や用具表現方法を工夫して表現する。 バロックから現代まで当時の時代背景とともに作品や技法について学ぶ。
3 学 期	○絵馬の製作（木彫）	将来の夢や希望などから主題を生み出し、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して、創造的に絵や立体で表現する。 ・自分を見つめ自分の気持ちや性格、夢や思い出などについて考え、主題を生み出す。 ・材料や用具表現方法を工夫して表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の思いや意図、表現の工夫などについて考えを深める。

5 教科における道徳教育

- ・創造的活動に喜びを感じ、豊かな情操を養う。
- ・他者と自己との表現の違いに気づき、互いに認め合う心を養う。

第3学年 保健体育科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体として捉え、傷害にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成する。 【体育分野】 (1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。 【保健分野】 (1)個人生活における健康・安全について理解し、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
	教科書 中学校保健体育（大修館書店） 副教材等 ステップアップ中学体育（大修館書店）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・選択した運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義についての考え方を理解している。 ・健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について個人生活を中心として科学的に理解している。 ・選択した領域の運動の特性に応じた基本的な技能や保健に関する基本的な技能を身に付けている。	・生涯にわたって運動を豊かに実践するための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して、学習に主体的に取り組もうとしている。 ・自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。
・授業の様子や発言内容 ・振り返りフォームの記述 ・定期テスト等 ・実技テスト	・授業の様子や発言内容 ・振り返りフォームの記述 ・課題解決学習	・授業の様子や発言内容 ・振り返りフォームの記述

3 学習についてのアドバイス

学校	・学習課題等を捉え、自分なりの課題をもち、その解決に向け工夫して取り組みましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞き、自分に取り入れましょう。 ・どの学習活動も粘り強く取り組みましょう。 ・学習カードなどは、この時間学んだことや次の時間の課題などを整理するようにしましょう。 ・ルールやマナーを守り、怪我や事故に気をつけ、安心・安全な活動につなげましょう。
家庭	・授業に入る前には、教科書等の内容を読むようにしましょう。 ・授業で学んだ健康や安全など保健に関わる知識や技能は、家庭でも活用するように心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	目標（学習を通して身に付ける力）
1 学 期	○体づくり運動・体育に関する知識 ・集団行動と体ほぐし運動 ・体力を高める運動 ・新体力テスト	・心や体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わらう。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて運動に取り組む方を工夫するとともに、自分や仲間が考えたことを伝える。 ・運動に積極的に取り組み、仲間の学習を援助しようとする。 ・健康・安全に気を配ることができる。
	陸上競技 ・走り高跳び ・選択競技 (短距離・ハードル・幅跳び)	・【走り高跳び】リズミカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	水泳	・学んできた泳法で、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・自分や仲間の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・自主的に取り組み、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを守ろうとすること、自分の責任を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。
	ダンス (体育祭の取り組み)	・【現代的なリズムのダンス】リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊る。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。
	感染症の予防 健康を守る社会の取組	・感染症の予防、健康を守る社会の取り組みについて、理解する。 ・習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択する。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができるようにする。
2 学 期	球技 ・ネット型 (バレーボール)	・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自分やチームの課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫し、自分や仲間の考えたことを伝える。 ・自主的に取り組み、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、友達のプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全に気を確保することができる。
	球技 ・ゴール型 (サッカー)	・安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・自分やチームの課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分や仲間の考えたことを伝える。 ・自主的に取り組み、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、友達のプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全に気を確保することができる。
	武道 ・柔道	・相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。

		・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、友達の課題や挑戦を認めようとするなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配る。
	健康と環境	・健康と環境について、理解する。 ・課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。
	体育理論 (3)	・文化としてのスポーツの意義について理解する。 ・自分の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 ・学習に自主的に取り組むことができるようにする。
3 学 期	球技 ・ネット型 (バドミントン) (卓球)	・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自分やチームの課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫し、自分や仲間の考えたことを伝える。 ・自主的に取り組み、フェアプレイを大切にしようとし、作戦などについての話合いに貢献しようとし、友達のプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとし、健康・安全に気を確保することができる。

※各運動領域において、その運動ならではの楽しさや喜びを味わい、特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することも身に付ける力として含む。

5 教科における道徳教育

・学習活動の中で繰り返し行われる集団活動や球技への取り組みを通して、仲間と協力しながら自己の責任を果たし、粘り強くやり遂げる態度を育てる。 ・健康・安全についての理解を深め、互いに支えあうだけでなく、ルールを守り公正な態度で活動する態度を育てる。
--

第3学年 技術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を養う。 (1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）
副教材	技術ノート

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
・ 定期、小テスト等 ・ 授業の様子や発言内容 ・ ノート、ワークシートへの記述 ・ 指導に対する成果物（レポート、作品等） ・ 振り返り（自己・相互評価）	・ 定期、小テスト等 ・ 授業の様子や発言内容 ・ ノート、ワークシートへの記述 ・ 指導に対する成果物（レポート、作品等） ・ 振り返り（自己・相互評価）	・ 授業の様子や発言内容 ・ ノート、ワークシートへの記述 ・ 指導に対する成果物（レポート、作品等） ・ 振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・ 準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・ 授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと（日常生活）に活かせるようにしましょう。 ・ 特別教室（技術室・PC室）を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
家 庭	・ 学習した内容で分からない部分は復習をしておきましょう。 ・ 作図や作業の手順、機械や道具の名前、使い方のポイントなどをしっかりと確認しておきましょう。 ・ 学習した内容を日常生活にリンクさせ、活かそうと心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	・生物育成の技術についての基礎的・基本的な知識・技能 ・生物育成の技術による問題解決	・作物、動物及び水産生物の成長、生態についての科学的な原理・法則について理解することができる。
5		・生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを理解することができる。
6		・安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる。 ・生物育成の技術の見方・考え方を活用し、問題を解決することができる。
7	・社会の発展と生物育成の技術 ・エネルギー変換についての基礎的・基本的な知識・技能	・生活や社会に果たす役割や影響に基づいた生物育成の技術の概念を理解することができる。
9		・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりすることができる。
10		・電気、運動、熱などについての科学的な原理・法則やエネルギーの変換や伝達などに関わる基礎的な技術の仕組みの理解することができる。
11	・エネルギー変換の技術による問題の解決	・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取ることができる。
12		・安全・適切な製作、実装、点検及び調整等を行うことができる。
1		・エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し、解決することができる。
2	・社会の発展とエネルギー変換の技術	・生活や社会に果たす役割や影響に基づいたエネルギー変換の技術の概念を理解することができる。
3		・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりすることができる。

5 教科における道徳教育

- ・技能の修得を通して、興味関心をたかめ、身近な問題を解決する態度を養う。
- ・生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得することで、望ましい生活習慣を身に付けるとともに、勤労の尊さや意義を理解させる。
- ・進んで生活を工夫し創造しようとする態度を育てることで、家族への敬愛の念を深めるとともに、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考え、生活をよりよくしようとする意識を育てる。

第3学年 家庭科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）
副教材	技術・家庭ノート（新学社）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
・定期テスト ・パフォーマンス（技能）テスト ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・定期テスト ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・学習したことを、家庭で実践してみましょう。

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

時間	主な単元・教材等	主な学習目標
1 3	A 家族・家庭生活	1 自分の成長と家族・家庭生活 ・自分の成長と、家族や地域の人々との関りと、自分自身の理解を深める。 ・自分の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。 ・家庭や家族の大切さについて考える。
		2 幼児の生活と家族 ・自分の成長を振り返り、幼児期への関心をもつようにする。 ・幼児の心身の発達の特徴を知り、個人差があることを理解する。 ・自分の実践的・体験的な活動を通して、幼児にとっての遊びの意義を理解する。
		3 幼児とのかかわり ・幼児の発達や生活の特徴から、幼児と触れ合うための自分の課題を見つけ、具体的な関わり方を考え、工夫することができる。 ・幼児との関わり方について、感じたことや考えたことをまとめ、幼児への理解を深める。 ・子どもの成長と地域のつながりについて知り、地域の中で中学生ができることを考える。
		4 家庭生活と地域のかかわり ・家庭生活は、地域との相互の関りで成り立っていることを理解する。 ・地域で活動する高齢者や見守りが必要な高齢者との関りを考える。
		5 持続可能な家庭生活 ・誰もが尊重される家庭・地域の生活をめざして、課題を見つけ、実践的に取り組む。
4. 5	C 消費生活・環境	1 家庭生活と消費 ・収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる。
		2 購入・支払いと生活情報 ・売買契約について、問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。 ・多様化する支払いの特徴を知り、利点と問題点を理解する。
		3 消費者被害と消費者の自立 ・消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる ・消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者を目指す。
		4 持続可能な社会 ・環境に配慮したライフスタイルを選択し、実践できる。

5. 教科における道徳教育

- ・生活に必要な知識や技能を身に付けるとともに、家庭生活上で実践しようとする態度を育てる。
- ・家庭生活を大切にすることの心情を育み、家庭の一員としての役割を果たせるようにつとめる。

第3学年 外国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	Here We Go! ENGLISH COURSE 3
副教材	新英語のワーク（明治図書）

2 評価の観点及び方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。

話すこと (やり取り)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと (発表)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。
	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等）	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等）	・授業の様子や発言内容 ・パフォーマンステスト ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学校	・間違えることを恐れずに、積極的に英語を使いましょう。 ・音読練習や会話練習などは、しっかり声を出して練習しましょう。 ・ペアやグループでの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・授業だけでなく、授業以外の時間も積極的にALTの先生に話しかけましょう。 ・単元終了時や定期テスト後に自分の理解度を振り返り、見直しをしましょう。
----	---

- ・学習した内容は、その日にワークなどを活用して復習しましょう。
- ・教科書の本文を、何度も音読しましょう。
- ・言えるようになった英文を、ノートに書いて繰り返し練習しましょう。
- ・予習として、単語調べをしておきましょう。
- ・テレビ、ラジオ、インターネット等を通して、英語に触れる機会を自主的に作りましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	Unit 1 School Life Around the World	・学校紹介の記事から、日本の学校との違いを読み取ることができる。 ・読んだ記事について、意見を発表することができる。
5	Daily Life 1 ディスカッション Unit 2 Our School Trip	・話し合いから、それぞれの意見や最終的な結論を聞き取ることができる。 ・会話から、おすすめの場所やしたことなどを聞き取ることができる。 ・おすすめの場所について、教え合うことができる。
6	Daily Life 2 留守番電話 Unit 3 Lessons from Hiroshima Active Grammar 1 現在完了形／現在完了進行形	・留守番電話の伝言を聞き、用件に応じたやり取りができる。 ・文章から、人物の経験や心情などを読み取ることができる。 ・読んだ文章について、感じたことなどを発表することができる。 ・現在完了形と現在完了進行形を理解し、使うことができる。
7	Let's Read 1 From the Diary of Kawamoto Itsuyoshi World Tour1 Living With Animals You Can Do It! 1 「現在」と「過去」の相違点を挙げよう	・日記から出来事や気持ちを読み取り、筆者について想像したことを伝え合うことができる。 ・絶滅危惧種の現状やその原因について知ることができる。 ・町の歴史についての説明を聞いて、内容を理解することができる。 ・過去と現在の町の写真を比べて相違点を述べたり、50年後の町の変化を予想して述べたりすることができる。
9	Unit 4 AI Technology and Language	・投稿文から、それぞれの意見の要点を読み取ることができる。 ・読んだ投稿文について、感想や自分の意見を書くことができる。
10	Let's Read 2 Robots Makes Dreams Come True Daily Life 3 ポスター	・説明文の要旨を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。 ・ポスターから、必要な情報を読み取ることができる。
11	Unit 5 Plastic Waste	・プレゼンテーションから、話の流れを読み取ることができる。 ・読んだプレゼンテーションについて、感想や考えを伝え合うことができる。

12	Daily Life 4 ニュース	・ニュースを聞いて要点を捉え、おおまかな内容を説明することができる。
	Unit 6 The Chorus Contest	・絵の説明から、場面や状況を聞き取ることができる。 ・絵にふさわしいせりふを考えて発表することができる。
	Active Grammar 2 後置修飾	・名詞の後ろに説明を追加する言い方を理解し、使うことができる。
	You Can Do It! 2 学校に必要なものを考えて意見を伝えよう	・2人の生徒の提案を読み、賛成か反対かを決めることができる。 ・どちらかの提案について、自分の意見と理由を伝え合うことができる。
1	Unit 7 Tina's Speech	・スピーチから、話し手がいちばん伝えたいことを聞き取ることができる。 ・今の自分の様子を伝える、スピーチをすることができる。
	World Tour 2 How Do We Live?	・世界を100人の村にたとえた文章から、世界の現状を知ることができる。
2	Let's Read 3 Changing the World	・スピーチから話し手の主張を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。
	Unit 8 Goodbye, Tina	・手紙から、書き手のいちばん伝えたいことを読み取ることができる。 ・自分の気持ちを伝える手紙を書くことができる。
3	You Can Do It! 3 3年間で締めくくる言葉を考えよう	・単語を折り込んだ詩から、書き手の気持ちを読み取ったり表現の工夫に気づいたりすることができる。 ・好きな単語を折り込んだ詩を作ることができる。
	Let's Read more 1 The Runner Wearing Number 67	・1964年の東京オリンピックのエピソードから、選手の思いを読み取ることができる。
	Let's Read more 2 Visas for 6,000 Lives	・杉原千畝の伝記から、彼の行動と意思を読み取ることができる。
	Let's Read more 3 The Adventure of Tom Sawyer	・「トム・ソーヤの冒険」の1節から、物語のおもしろさを味わったり人間の行動について考えたりすることができる。

5 教科における道徳教育

- ・ 自国や世界の国々の生活や文化についての理解を深めるとともに、言語や文化に対する関心を高めこれらをお互いに尊重する態度を育てる。
- ・ 広い視野から国際理解を深め、国際協調の精神を養う。

「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標
四日市市立塩浜中学校

学年	スキャップ	Speaking			Reading	Writing
		Listening	やりとり	発表		
6	3	話し手に聞き取ったり、質問したりできるよう、内容を精読しながら聞くことができる。	自分の考えや気持ち、事実などを聞き手とわかりやすく伝え、必要に応じて聞き返したり、詳しい説明を求めたり、相づちをうったりしながら会話を続けることができる。	日本文化等の日常的な話題について、言葉で説明できることが、できる。また手と口を使ったゲームについて、自分の考えや主張を整理し、スピーチすることができる。	手がかりとなる単語(注釈など)をもとに、様々な文章(物語文や説明文等)を読み、その概要や要点を理解するとともに、それぞれに対して感想を述べたり、理由を示したりできるよう、自分の考えを持って読むことができる。	自分のゲームについて、自分の考えや気持ちを文章で読み手に正しく伝えるように、まとまりのある文章を書くことができる。
		Unit8 (Tina's speech) Unit8 (鳥獣図画クイズ)	Unit5 (プレゼンの感想を伝え合う) Unit6 (鳥獣図画クイズ)	Unit7 (今の自分を伝えるスピーチ) You Can Do It! ② (学校に必要なもの)	Unit5 (プレゼン) You Can Do It! ② (学校に必要なもの) World Tour2 (世界の現状)	Unit8 (大切な人への手紙)
5	4	ゆつくり、はっきりと語られれば、まとまりのある少し長めの英文(会話や音声案内)を聞いて、その人まかな内容や話し手が伝えたい情報を聞き取ることができる。	自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に伝え、教科書等の資料を参考にしながら、会話を継続させることができる。	写真や絵などの視覚的補助を利用して、与えられたゲームについて、自分の意見や主張、その理由を述べたスピーチをメモを助ながら発表することができる。	まとまりのある英文を読んで、あらすじや大切な部分などを正確に読み取り、自分の言葉で内容について簡単に説明することができる。	身近な人や写真、事物について文のつなぎや文章の構成等を意識して、まとまりのある文章を書くことができる。
		Daily Life1 (デイズカガシム) Daily Life2 (留守番電話) World Tour1 (絶滅危惧種について) Daily Life4 (ニュース)	Unit2 (おすまの場所) Daily Life2 (電話のやりとり)	Unit3 (感想を発表)	Unit1 (学校紹介の記事) Unit3 (西村さんの手記) Unit4 (投稿文)	Unit4 (投稿文の感想)
4	3	短促が聞くことができれば、自分にとって必要な情報を聞き取るることができる。	身近な事柄しにかかわる事柄について、聞き手に伝えたり、質問に適切に反応することができる。	Daily Life4 (道案内) Daily Life6 (体調不良)	Unit8 (好きな作品を紹介)	Unit7 (自分の町の紹介)
		Daily Life2 (空港や観光アウタス) Unit5 (防犯メソッド) Daily Life7 (録音案内) World Tour3 (世界遺産)	Daily Life4 (道案内) Daily Life6 (体調不良)	Unit8 (好きな作品を紹介)	Unit3 (メール) You Can Do It! ① (わが町観光プラン) Unit6 (職場体験レポート)	Unit7 (自分の町の紹介)
3	2	ゆつくりや言い換えを交えて、身近な話題について語られた英文を聞いて、情報を適切に聞き取ることができる。	電話で短い伝言を渡したり、簡単な対応をすることができ、また教書店等で注文したり、何かを依頼したりするやり取りをすることができ。	Daily Life1 (電話) Daily Life3 (レストラン) You Can Do It! ① (観光プランを発表) お勤めの場所紹介 Unit4 (ニューミュージックの紹介)	Unit1 (日記を読む) Unit4 (ガイドブック) Daily Life5 (イベントのお知らせ)	Unit1 (日記) Unit3 (メール) Unit6 (職場体験レポート)
		Unit2 (インタビュー) World Tour1 (事件) You Can Do It! ② (日本のおもてなしの心) You Can Do It! ③ (日本のおもてなしの心)	Daily Life1 (電話) Daily Life3 (レストラン) You Can Do It! ① (観光プランを発表) お勤めの場所紹介 Unit4 (ニューミュージックの紹介)	Unit1 (日記を読む) Unit4 (ガイドブック) Daily Life5 (イベントのお知らせ)	Unit1 (日記を読む) Unit4 (ガイドブック) Daily Life5 (イベントのお知らせ)	Unit1 (日記) Unit3 (メール) Unit6 (職場体験レポート)
2	1	ゆつくりや言い換えを交えて、身近な話題について語られた英文を聞いて、話し手の伝えたいことを理解することができる。	基本的な語彙や表現を用いて、自分のことや身のまわりのもの等、身近な話題について、聞きたい情報を得られるように会話をすることができ。	Unit5 (自分の学校についてたずね合う) Daily Life3 (飲食店で注文するやり取り)	Unit5 (案内状を読む) Unit7 (はがきを読む) Daily Life4 (インターネット記事を読む)	Unit1 (自己紹介カードを書く) Unit6 (身近な人を紹介する) Unit7 (冬休みにしたことや感想を書く) Unit8 (写真で状況を説明する)
		Unit2 (会話から、好きな言葉など聞き取る) Unit3 (インタビューを適切に理解している) World Tour1 (世界の中学生について) Unit4 (会話から聞き取る)	Unit5 (自分の学校についてたずね合う) Daily Life3 (飲食店で注文するやり取り)	Unit5 (案内状を読む) Unit7 (はがきを読む) Daily Life4 (インターネット記事を読む)	Unit5 (案内状を読む) Unit7 (はがきを読む) Daily Life4 (インターネット記事を読む)	Unit1 (自己紹介カードを書く) Unit6 (身近な人を紹介する) Unit7 (冬休みにしたことや感想を書く) Unit8 (写真で状況を説明する)
1	1	本人に向かって、ゆつくりはっきりと語られれば、簡単な英語を聞いて、具体的な行動に移すことができる。	基本的な語彙や表現を用いて、自分のことや身のまわりのもの等、身近な話題について、聞きたい情報を得られるように会話をすることができ。	Unit2 (好きなこと発表する) Unit3 (夏休みについてインタビュー)	Unit2 (好きなこと発表する) Unit3 (夏休みについてインタビュー)	Unit2 (好きなこと発表する) Unit3 (夏休みについてインタビュー)
		Classroom English Unit1 (会話からその人の情報を聞き取る)	Unit2 (好きなこと発表する) Unit3 (夏休みについてインタビュー)	Unit2 (好きなこと発表する) Unit3 (夏休みについてインタビュー)	Unit2 (好きなこと発表する) Unit3 (夏休みについてインタビュー)	Unit2 (好きなこと発表する) Unit3 (夏休みについてインタビュー)

